

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的	取組の内容	取組の効果
<p>大同生命保険株式会社</p>	<p>生命保険業</p>	<p>内務職員 3100人 営業職員 3746人</p>	<p>“時間と場所”を選ばずに、従業員一人ひとりの価値観や育児・介護など家庭の事情等に応じて「いつでも・どこでも・柔軟に働ける職場づくり」の実現に向けて、テレワークを含む働き方改革・両立支援を推進</p>	<p>【2013年度】 約5,000人の営業職員全員にタブレット端末を配布。 社外での業務効率化により直行直帰を励行。</p> <p>【2014年度】 在宅勤務制度を導入。 育児・介護と業務を両立しながら働く従業員を中心に利用者が拡大。</p> <p>【2018年度】 サテライト・オフィスを開設。（神戸） 自宅近隣の事業所で査定業務（在宅勤務の対象外業務）を実施可能な体制を整備。</p> <p>【2019年度】 在宅勤務制度を改定し、利用回数・場所の制限を撤廃。</p> <p>【2020年度】 コロナ禍において、本社のみならず、支社・サポート組織においても在宅勤務を推進。 上司・同僚とのコミュニケーションや、お客さま訪問手段として、ZOOM・LINE WORKS・Teamsなどリモートツールを積極活用。 サテライト・オフィスの拡大。（埼玉）</p> <p>【2021年度】 民間のシェアオフィスを利用開始。 在宅勤務制度の対象者を、従来の本社所属員のみから全ての従業員に変更。</p>	<p>・以前よりテレワークで勤務できる環境を整備してきたことで、台風・地震等の大規模災害時やコロナ禍でも、事業継続が可能な体制を構築。</p> <p>・通勤時間の縮減による心身の負担軽減やリモートにあわせた業務手順の見直しなど、従業員が健康・安全かつ効率的に勤務できる職場環境を実現。</p> <p>・サテライト・オフィスやシェアオフィスなど、勤務先や自宅以外の“働く場所”を複数提供することで、移動時間の有効活用や業務に集中できる環境を提供し、効率的でメリハリのある勤務をより一層推進。</p> <p><受賞歴> 2017年度：テレワーク先駆者百選「総務大臣賞（大賞）／総務省 2018年度：テレワーク推進賞「優秀賞」／日本テレワーク協会 2019年度：輝くテレワーク賞「優秀賞」／厚生労働省</p>